

3 研究のまとめ

(1) 研究の成果と課題

ア 成果

- ・児童の実態を踏まえ、実態に応じた手立てを無理なく取り入れた結果、児童に身に付けさせたい力を育成することができました。同時に、授業改善に取り組んだ研究委員の先生方の授業に取り入れる手立てが増え、授業力の向上につながったのではないかと考えます。
- ・昨年度試案として作成した「授業の質的改善を図るための手引き（以下、「手引き」）」を実践を重ねながら、見直し・修正していきました。手引きに掲載していた手立てはもちろんですが、掲載していなかった手立ての有効性が実証されると、「手引き」に追記をしていきました。日々の授業の質的改善を通して、「手引き」の内容の妥当性を高めていくことができたと考えます。

また、公開授業研究会に参加された先生方から、「手立てや児童の姿がより具体的に分かるものがあると、更に良い」という御意見を頂きました。そこで、学習活動における児童の姿を具体的に想起しやすく、また取り入れる手立てを具体的にイメージすることができるよう、「手引き（詳細版）」を作成しました。「手引き（簡易版）」と併せて活用していただければと思います。

イ 課題

- ・日々の授業を無理なく改善しながら、児童に着実に力を身に付けさせるためには、児童の実態を的確に見取り、実態に応じた適切な手立てを取り入れる必要があります。そのためには、「評価」を適切にすることができなければならないということを改めて感じました。新学習指導要領では新しい3つの評価の観点が示されています。今後示されるであろう学習評価の具体に照らし合わせて、学習活動の場面における評価の在り方について研究を進めていく必要があります。

(2) 終わりに

本研究委員会を進めるに当たり、小城市立牛津小学校、嬉野市立轟小学校において公開授業研究会を開催し、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の質的改善の考え方を基にした授業を公開しました。両校には、公開授業研究会の場を提供していただいたことに感謝申し上げます。授業を参観された先生方には、貴重な御意見、御感想を頂きました。本当にありがとうございました。先生方から頂いた御意見、御感想は、今後の研究に生かして参ります。また、佐賀市立巨勢小学校においては、次期学習指導要領に関する研究指定校の立場から御協力をいただきました。本当にありがとうございました。研究スタッフ一同、本研究が、先生方の一助になればと考えております。そして、児童の学びに還元していただければこれに勝る喜びはありません。

最後に、公開授業研究会場校の皆様をはじめ、本研究に関わった全ての方々に深く感謝申し上げ、お礼の言葉に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。